

F4 リュサン RUSSAN

リュサンの岩場はニムスの北方約20kmほどに位置し、観光地でも有名な古代ローマ遺跡ポンデュガールにも近い。岩場は川に面しており横に長く広がっている。大きき分けると垂直とリングの2つのエリアに分けることができる。特に冬の晴れた日はとても暖かく風も岩場にはあたらぬのでお進めしたい。ルートも易しいものから難しいものまでまんべんなく揃っている。ただし、リングの部分は染み出しが多く、リング以外はどこからとらえようとスラブっぽく、この岩場も賛否両論分かれるエリアであろう。昔は駐車していた車が泥棒に狙われた話を良く聞いたが、最近は大丈夫らしい。しかし草原の真中に車を止め一度岩場に降りてしまうとなかなか戻れないのでくれぐれ車の中にはなにも残さないように。また後ろのトランクルームもからにしてカバーをはずしておくこと。できるならダッシュボードもからにして開けておくのが良い。念には念を。

岩質
石灰岩

ルート

岩場は大きき分けると垂直とリングの二つに分けられる。垂直から薄被りの部分はカチカチしたエッジをたどるルートが多くテクニカルなルートが多い。またコルネも幾つかありおもしろい。しかし、短いわりにはかなり悪くワザを使う。リング帯のエリアはかなりの傾斜で高難度ルートが幾つか設定されている。しかしリング帯は汚れていることのほうが多いようで、いつ乾くのか?と思うほどよ染み出していた為取り付けがなかった。高さはほとんどが15m以下のショートルートが多い。グレートにも幅があり易し感じるものもあれば、難しく感じるものもある。個人的にはコルネのルートは短いながらも難しく感じた。南面で日中日向。雨が降ると垂直部分は登れない。

宿泊

ニムスの街まで行けばホテルなどがある。また岩場へのアプローチの途中に岩小屋がありピクニックもできる(ドアもありちゃんとした小屋)。

シーズン

秋から冬。特にミストラルの吹く冬の日でも岩場には風があたらぬので暖かい。

ショッピング

かなりの田舎なので近くに店は無い。買い出しをしてから行くこと。トポはRUSSANとCOLLIASというエリアが一緒になったものがUZES(RUSSANから北へ30分ほどの大きな町)のツーリストインフォで売っていた。

アプローチ

ニムスやアヴィニオンなどからさまざまなアプローチ方法がある。ここではアヴィニオンからのアプローチを紹介する。AVIGNONからN100号でポンチュガールを目指す。そこからD981号に向かい13kmほど行くと所からD112号に入りD18号へと入って行くとRUSSANの小さな村に付く。村に入る手前を左に登る小道がある。そこを入りしばらく行くとダートになる。3kmほどダートを走ると草原の真中にパーキングがある。パーキングからは踏み跡をたどって10分ほど。途中岩に穴のあいた所から懸垂下降してもよい。くれぐれ音も暗くなってからこの辺りを歩く時は穴を踏み抜かないように。

95年 木村伸介